

〈参 考〉

財務リスクについて(平成18年度決算) (2006)

○財務リスクとは

- ・将来の大阪市財政に悪影響を及ぼすことが懸念される要素としては、約5兆円にのぼる市債残高(一般会計・特別会計)のほか、地方公社や外郭団体に対する債務保証・損失補償など、団体が借入金を返済できなくなった時に市が負担しなければならないものがあります。
- ・こうした要素のうち、特に経営収支の良好でない事業、あるいは外部委員会から将来の経営の不安定さを指摘されたものなど、今後の市の財政収支に影響を及ぼす危険性があるものを「財務リスク」として、平成19年2月に内容や方向性を一覧表にまとめました。
- ・財務リスクの内容については、阿倍野再開発事業のようにその額がほぼ確定しているものがありますが、経営計画の着実な実行により現在の債務額が確実に縮小していくもの、団体等の資産処分が市の負担の前提となっているものもあり、現在の借入金が入リスク内容そのものと言えないものも存在します。

下表は、平成19年(2007)2月公表の「財務リスクの全体像について」掲載項目の収支不足額や不良債務額等を、18年度(2006)決算ベースに時点修正したものです。

(1) 資産処分収入で公債費を賄う事業 18年度(2006)決算時点 (単位:億円)

阿倍野再開発事業	収支不足総額(75年まで)	2,120
此花西部臨海土地区画整理事業(一般会計)	収支不足総額(47年まで)	223

(2) 経営収入で運営を行う事業

【準公・公営企業】		
自動車運送事業(バス事業)	不良債務額	(48)
市民病院事業	不良債務額	(128)
中央卸売市場事業	不良債務額	(130)
【地方公社】		
土地開発公社	CIT 収支差額	155—売却益等
道路公社	引継ぎ時負債総額(31~43年度)	393 (うちダウンサイドリスク 60)
【土地信託事業】		
ビッグステップ	敷金+借入金	(95)
キッズパーク	敷金+借入金	(102)
ソーラ新大阪21	敷金+借入金	(153)
オーク200	敷金+借入金	(714)
オスカードリーム	敷金+借入金	(280)
【特定団体】		
MDC(湊町開発センター)	金融機関借入金	(68)
ATC(アジア太平洋トレードセンター)	金融機関借入金	(350)
WTC(大阪ワールドトレードセンタービルディング)	金融機関借入金	(527)
クリスタ長堀	金融機関借入金	(99)

(3) 国民健康保険事業

国民健康保険事業	累積赤字	380
----------	------	-----

()は、必ずしもリスクが顕在化するとは限らないもの。

- ・土地開発公社のCIT収支差額の算定における「売却益等」については未確定
- ・道路公社の「ダウンサイドリスク」は、収入の低減と支出の増加、金利の上昇を見込んだもの。「大阪市道路公社経営改善計画」に基づき、平成20年度予算では駐車場建設資金等借入金に対する繰上償還補助(約23億円)・駐車場建設資金償還に伴う資金借入金の利子補給(約3億円)を実施予定
- ・ビッグステップについては、19年(2007)12月の土地建物売却処分金(約167億円)により、敷金・借入金を清算し、残余財産の土地信託清算金(70億円)を都市整備事業基金に積立(20年(2008)3月補正議決済み)
- ・ソーラ新大阪21については、20年(2008)3月土地建物売却処分金約195億円(契約額)により清算予定